

国交省、超低騒音型発電機6型式を指定

国土交通省は平成28年9月30日付けで、低騒音型建設機械として、デンヨー、やまびこ、北越工業の3社から申請のあった可搬式の発電機6型式を含め、合計58型式を追加指定した。また、同日付で告示した。

今回の指定分を加えた累計では、低騒音型建設機械は延べ5,891型式となった。そのうち、発電機は延べ933型式となった。

なお、今回、低振動型建設機械の申請はなかった。累計でも、低振動型建設機械は延べ27型式と変わらず。

国土交通省では、建設工事に伴う騒音・振動対策として、「低騒音型建設機械」と「低振動型建設機械」の指定を平成9年から実施している。

同省が発注する公共工事では、指定を受けた低騒音型建設機械と低振動型建設機械の利用を義務づけることで、建設工事の現場周辺的生活環境の保全と建設工事の円滑な施工を図ることに努めている。

問合せ先：国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課 環境・リサイクル企画室（☎03-5253-8271）

表1. 低騒音型発電機

申請者名	分類	型式	定格容量 (kVA)	適用
デンヨー(株)	ディーゼルエンジン駆動	DCA-45LSKE 2	45	超低騒音型
(株)やまびこ	ディーゼルエンジン駆動	DGM130MK	13	超低騒音型
北越工業(株)	ディーゼルエンジン駆動	SDG25L-5 B 1	25	超低騒音型
北越工業(株)	ディーゼルエンジン駆動	SDG25LA-5 B 1	25	超低騒音型
北越工業(株)	ディーゼルエンジン駆動	SDG45LA-5 B 2	45	超低騒音型
北越工業(株)	ディーゼルエンジン駆動	SDG60LA-5 B 1	60	超低騒音型

排出ガス対策型も同じ6型式を指定

国土交通省は平成28年9月30日付けで、第3次基準値に適合した「排出ガス対策型建設機械」として、デンヨー、やまびこ、北越工業の3社から申請のあった可搬式の発電機6型式を含め、合計10型式を追加指定した。また、同日付けで告示した。

今回の指定分を加えた累計では、第3次基準値適

合の排出ガス対策型建設機械は延べ642型式となった。そのうち、発電機は延べ194型式となった。

国土交通省では、建設現場の作業環境の改善、機械施工が大気環境に与える負荷の低減を目的として、排出ガス対策型建設機械の型式指定を行い、当該建設機械の普及促進に努めている。

その一環として、平成18年3月17日付け通達に基づき、「第3次排出ガス対策型建設機械」の型式指定を実施している。

問合せ先：国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課 環境・リサイクル企画室（☎03-5253-8271）

表2. 排出ガス対策型発電機

申請者名	分類	型式	定格容量 (kVA)	適用
デンヨー(株)	ディーゼルエンジン駆動	DCA-45LSKE 2	45	第3次基準値
(株)やまびこ	ディーゼルエンジン駆動	DGM130MK	13	第3次基準値
北越工業(株)	ディーゼルエンジン駆動	SDG25L-5 B 1	25	第3次基準値
北越工業(株)	ディーゼルエンジン駆動	SDG25LA-5 B 1	25	第3次基準値
北越工業(株)	ディーゼルエンジン駆動	SDG45LA-5 B 2	45	第3次基準値
北越工業(株)	ディーゼルエンジン駆動	SDG60LA-5 B 1	60	第3次基準値